

平成元年度 和歌山県文化賞

やま もと しち へい
山 本 七 平

住 所：東京都新宿区

出 身 地：東京都

生 年：大正10年

◎業績及び経歴

山本氏の祖父は、新宮市三輪崎において、網元及び醸造を営まれる。三男であった山本氏の父が、東京に移り、氏は東京で生まれた。

昭和17年に青山学院高商部卒業後、大阪商船に入社されたが、入社直後に召集を受け、フィリピンで終戦を迎える。

戦後、しばらく出版関係に従事。昭和33年独立して、「山本書店」を創立。自身、祖父以来の敬虔なクリスチャンである山本氏は、聖書学関係の専門出版書店として経営する。

昭和46年、イザヤ・ベンダサン著『日本人とユダヤ人』（大宅壮一ノンフィクション賞受賞）の訳書が、ベストセラーとなり、一躍脚光を浴びる。以来、評論家として活躍する。

キリスト教、ユダヤ教の深い知識、東洋古典の教養や軍隊経験を土台に、日本人の思想と行動を独自の視点からとらえた日本人論を展開、ユニークな評論活動を行なう。

昭和56年には、この独特の日本人論、いわゆる「山本学」の創造に対し、第29回菊池寛賞を受賞した。

また、「山本学」に基づいた数々の著書を著わし、大きな反響を呼んだ日本人論から、人生論、歴史論、経営論にと展開、文化の向上に大きく貢献している。現在、平成元年9月発刊の『日本人とは何か』も、大いに注目を集めているところである。

本県に対する氏の憧憬も深く、熊野政経文化同志会の顧問として、熊野文化の振興に尽力されて

いるほか、昭和63年に開催された日本文化デザイン会議'88熊野の開催に当たっては、テーマ委員長、講師として、開催に尽力、本県の文化発展に貢献、本年11月には、ポストデザイン会議として、熊野文化デザイン会議の開催が決定、氏も講師として参加する予定である。